

Eye Tracking Core+



動き回れる次世代ウェアラブル・アイトラッカー

ナチュラルな計測を可能にする スタイリッシュなデザイン

(グラス本体)他のメガネ型 アイトラッカーのような重さや目障りな突起物はありません。また、携帯型レコーディングユニットは、ポケットサイズを使用予定ですので、被験者の自然な振る舞いを取得する事ができ、研究・開発の有効性を高めます。

IR マーカーが不要な仕組みで検証 対象物を限定しない汎用性の高さ

他のメガネ型アイトラッカーでは検査対象物に物理的なIRマーカー(別売)等のハードマーカーが必要なことで使用方法が限定される場合があります。Eye Tracking Core+ではソフトウェアマーカー手法を採用している為、使用方法が自由でどのような対象物でも検査対象とする事が可能です。



利き目を考慮した 正確な視線データが取得可能

Eye カメラ が両目にあることにより、他のメガネ型アイトラッカーと比較すると圧倒的な精度を誇ります。「どこを見ているのか?」を分析する以上、不正確な情報では意味を持ちません。その為、正確なデータが取得できるようあらゆる角度から研究開発と検証を行ってきました。



Eye Tracking Core+ 技術仕様

サンプリングレート	120HZ,60Hz
キャリブレーション	1, 3, 9 ポイントの3 種類
録音用マイク	○
シーンカメラ (解像度)	960×720p@30 fps 1280×960p@15 fps
シーンカメラレコーディング角	横: 80° 縦: 60°
連続記録時間 (レコーディングユニット)	TBD
記録可能容量 (レコーディングユニット)	TBD
重量(グラス本体)	44g
重量 (レコーディングユニット)	TBD
サイズ(グラス本体)	173×58×156 mm
注視点精度	0.5°

※上記仕様は改善のため予告なく変更される場合があります。

分析ソフトウェア

進歩し続ける分析ツールとビジュアライゼーションによる定性・定量分析

効果的ですぐに使用可能な ビジュアライゼーション

Eye Tracking Core+で取得した視線データをすぐにリプレイデータ(動画)として確認可能です。
また、ソフトウェアマッピングを行うことでスキャンパス、ヒートマップ、フォーカスマップ、KPI、統計ツールなどで結果として分かりやすくビジュアライズする強力なツールを備えています。ビジュアライゼーションは被験者がどこを、どのくらい長く見ていたかをわかりやすく表します。これらは簡単にレポートやプレゼンテーションに使用することが出来ます。



技能継承プログラムのご提案

ベテラン技術者の目線を見える化できないか？

[課題]

- 匠の技術をうまく若手・中堅社員へ伝承ができない
- 技術伝承の中で、目線の動きまで含めた技能の把握・分析ができていない
- 製品や設備のユーザビリティ検討・評価の中で、使用者の実際の目線は確認できていない
- 技術者のヒューマンエラーが、なかなか減らない

[提案]

- アイトラッキンググラスにより人の目線を「見える化」可能
- 技術者の技能の見える化

⇒「目線」を意識した技術習得・伝承

- 人の目線評価によるユーザビリティ向上
- ミス発生の防止



効果

技術伝承の促進 及び
商品力・品質の向上



SiB 株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山 3-1-3 6F

TEL : 03-5413-3328

FAX : 03-6800-3951

CONTACT : info@sib.jp.net

www.sib.jp.net

お問い合わせ